

会報順番番号 VI-03

建設部門（道路、施工計画）
株式会社 創信 小川 茂直

二科目目の技術士

「うそやろ～！」周囲にいた同僚の視線が集まった。

思わず、声に出てしまった。今年の1月8日に技術士第二次試験の筆記試験の合格発表があった。その日の夕方、社内で仕事をしていると、社長がやってきて、

「今日、合格発表やないの？どうやった？」

と尋ねてこられた。私は合格するはずないと思い込んでおり、

「受かるわけないんで、見てません。」

と答えた。

「そんなこと言わんと、まっ～見てみや～。」と催促されたので、技術士会のHPを開いてみた。なんと、私の受験番号があるではないか。

ー昨年のある日、会長室に呼ばれた。社長とお二人ソファに鎮座されていた。

「まっ～、掛けたまえ。」

いわれるがまま座ると

「なんとか、道路か河川の技術士を取得してくれないか。」

といわれた。半年ほど前にも会議のあとで残されて、技術士取得を依頼された。

その時は丁寧にお断りした。施工計画の技術士を取得するのに8年もかかり、受験対策講座や書籍購入で総額60万円近くも費やし、受験勉強優先の生活を強いられてきた。あのような苦痛な生活を、またしなければいけないと思うとご免こうむりたい。

それが、また改めて資格取得を懇願されている。

「取得に何年かかってもいいから、とにかく受験してみてください。」といわれる。

いろいろと断る理由を並べたが、そんなことはお構いなしに説得にかかってこられる。根負けして、とりあえず道路で受験してみることを伝えた。

しかし道路に関して、専門的にやっているわけではない。小規模な道路改良と落石対策の設計業務を担当したことがあるぐらいで、技術士の技量には見合わないかもしれない。

だが経験年数だけは十分にある。望みは非常に薄いですが、とりあえず受験してみて、

「やっぱり、まったく歯が立ちませんでしたわ～。」と白旗を上げるつもりでいた。

無謀な挑戦であると自覚しつつも、受験すると決めたからにはできる限りのことをした後
に散りたい。

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 テクノプラザ5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email : gcea9901@ybb.ne.jp

我が社には、短大の被服科を卒業された後、いろいろな仕事を経験されて、今では設計業務をこなしている女性がいる。建設関係の業務に携わったのは、入社してからである。彼女は超難関である測量士、RCCM、技術士一次試験を破竹の勢いで一発合格されている。なにかを持っているようである。

その女性に合格の秘訣を聞いたら、

「できることをやれば、いいんじゃないですかあ〜。」と言われた。

眼から鱗とは、まさにこのことである。このお言葉により、できることをすればいいんだと開き直り試験に挑むことにした。

試験内容を調べると、私が前回受験を開始した 1998 年とは大きく異なっている。

	試験時間	解答文字数
1998 年	7 時間	800 字×15 枚＝12,000 字
2020 年	5 時間 30 分	600 字× 9 枚＝ 5,400 字

試験時間と文字数だけみれば、大幅に楽になったように見える。しかし、合格率は 10% 程度であいかわらず難関のままであった。過去の問題をみても、チンプンカンプンで用語の意味すらわからない。やはり、断ればよかったかな〜と何度も後悔した。

そこで近年合格した技術士会の大坂拓也さんに、アドバイスをいただいた。まずは、素人向けの道路関係の解説本を購入して読みまくった。しかし、あまり頭には入らないようだ。その後、お金に糸目を付けず受験対策本を買いあさり読みふけた。しかし、やはり頭には残らないようである。そこで、手に覚えてもらうことにした。キーワードや他人様の執筆された解答例などをひたすら写経した。時間さえあれば、写経していた。自分で解答を作ることはしなかった。というよりは、能力的に無理であった。しかし、こうすればもっと分かり易い文章になるのではないかと、アレンジしながら書いた。

1998 年に受験対策講座を受講した時の講師が、知る人ぞ知る建設業界の松岡修造こと降旗達生氏である。講師曰く朝の一時間、昼休みの一時間、就寝前に三時間勉強しろと指導を受けた。実際には数回できただけであった。さらに技術士のことだけ考えた禁欲生活をしろともいわれた。しかし、今回も献血とテニスと飲酒だけは我慢しなかった。受験勉強だけでは効率が悪くなると、自分勝手に口実を付けていた。

試験が近づくとつれてすがれるものには、なんでもすかった。御仏壇、御先祖様のお墓、近所の氏神様。岐阜では学問の神様として加納の天満宮が有名であるが、近所の柳津に菅原道真を祭神として祭っている天神神社があるではないか。試験前にお参りに行ったが、日曜日なのに人影がまったくない。私一人のお願いぐらい叶えてくださいと祈りながら、一番大きなお賽銭を入れた。

〔 日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先 〕

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 テクノプラザ5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email : gcea9901@ybb.ne.jp

日本技術士会 岐阜支部 会報

2021. 8. 17

新型コロナウイルス対策の影響で、試験が7月から9月に延期され、写経の時間を確保することができた。

試験は12時から開始され、14時から30分の休憩後再開されるという変則な日程である。試験時間に余裕があったため、文章の構成を書き出してからそれなりに解答した。なんとか解答用紙を埋めたというのが、正直なところである。ヤマを掛けていたわけではないが、唯一解答できそうな落石対策と、自転車を活用した交通政策の問題があったため、それに飛びついた。相変わらず、設問の範囲が広い。

時間が余ったため、解答を読み直して、特に汚い文字を書き直した。試験官は大変だと思う。こんなに汚い文字の文章を最後まで読んでくれるなんて。

筆記試験が合格してからも大変であった。口頭試験では、業務経験について問われるとの事前情報であった。受験申込時に記載した経験業務は、管理技術者であったが、わからないことだらけで、いろいろな方々に聞きまくってやっとの思いで完了させたものである。そこで、設計報告書を改めて読み直し、概要を思い出すことから取り組んだ。

さらに、技術士会の高木智さんや栗本和明さんにも、図々しくアドバイスをいただくことにした。両氏とも社内ではそれなりの立場から、後輩達の技術士取得に関与され最新の受験情報を把握されているのではないかと思ったからである。予想はずりあたり、両氏から予想以上の情報とアドバイスをいただいた。それにより、想定質問と回答を用意し、スマホのレコーダーを利用して、何度も聞いて覚えようとした。

口頭試験は2月27日であった。私ども夫婦の結婚記念日である。妻に何かの因縁ではないかと話したが、あまり興味を示さなかった。

14時からの試験であるが、早朝に東京へ向かうことにした。早く到着するため、渋谷で献血して時間を潰そうと思ったが、すでに予約で一杯であり断念した。

時間を持て余していたため、明治神宮に参拝してから試験に臨んだ。

試験会場では、我ながら驚くほど落ち着いていた。何とかなるだろうという思いと、答えられることを答えるしかないという開き直りであったと思う。そのため、初対面の受験生とも、話ができた。

心配していた業務経験についてはまったく質問がなかった。聞かれた内容も今となってはほとんど覚えておらず、その場で思いつくまま回答していた。年の功であろうか。

試験官は私の襟に輝く技術士会のバッチを認識したせいか、既に技術士であることで経験を積んでいると思ってくれたように感じた。そのためか、意地悪な質問はなかった。回答に詰まった時には、フォローしてくれる言葉をかけていただいた。バッチを磨いておいてよかったと思う。

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 テクノプラザ5F
TEL : 058-379-0580 FAX : 058-385-4316 Email : gcea9901@ybb.ne.jp

日本技術士会 岐阜支部 会報

2021. 8. 17

3月16日の夜中に社長からLINEがあった。

「技術士の合格発表出てるじゃん!! どうだったの!？」

私は驚いた。発表は4月30日のはずである。その旨を返信すると

「あれ?去年のだった・・・」と送られてきた。

翌日、昨年度の私と同じ受験番号の方は、不合格であったことを報告しておいた。

合格発表の日に官報で確認後、合格したことを社長に報告した。口頭試験の手応えから、受かるのではないかなとは期待していたが、結果が確認できるとやはり嬉しい。その後しばらくして、会長室に呼ばれ、ねぎらいの御言葉と御祝い金をいただいた。既に用意されていたとは驚きである。それにより、息子に借りていた新車購入の借金を完済することができた。

「次は河川を頼む。」会長のお言葉である。そんなに安易に口にしないでほしいと思いつつも、頑張りますとは答えた。しかし、簡単ではないが簡単に受かってしまうと技術士の価値が低くみられるといけないと、余分な心配をしている。

お世話になった方々に報告のメールを打ち、ご丁寧なお祝いの返信をいただいた。受験対策本の著者である堀与志男さんは、官報で私の名前を確認していたという。

自分ではできるだけことはしたつもりだが、あの程度の解答で合格基準を満たすとは、想定外の外である。この勢いで今年は河川でも受験してみた。しかし、問題の意味がわからないものも多い。それでも、わかる範囲内で解答用紙を埋めきってきた。やはり、簡単な試験ではないことを改めて実感した。

以上

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1 テクノプラザ5F
TEL: 058-379-0580 FAX: 058-385-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp